

辺口芳典「写ルンです」

Yoshinori Henguchi & QuickSnap Superia  
Workshop and Photo Exhibition

ワークショップ&写真展



# こども

写真家であり詩人でもあるアーティスト「辺口芳典」×「こども」  
ワークショップ企画展。

What artist?

「職業：アーティストって何？」

アーティスト辺口芳典スピリットに触れ、自分が気になるものや自分について、  
人に伝え表現するまでのプロセスを通じ「伝える事」と「自分の感性」について  
考えるワークショップ。

+

「写真作品って何？」

手法とは何か、被写体とは何か人を介した表現と作品について考える展示。

What photographs?

## Workshop

ワークショップ日程

2013年7月6日(土)・14日(日)

時間：13:00—17:00 定員：13名程度 対象者：小学生

参加費：2回 3000円(2回とも参加可能な方)

申込方法：参加者のお名前・学年・連絡先を明記の上、info@artspace13.comへE-mailにてお申し込み。

場所：新・福寿荘内 アートスペースジュース / #13

※展覧会終了後、参加者の皆さんに作品をお渡し致します。

## Photo Exhibition

写真展会期

2013年7月21日(日)—8月12日(月)

営業時間：土・日・月14:00—21:00、火-金のみ19:00—21:00内で予約制。

アートスペース  
ジュース

#13



## Event

会期中イベント

辺口 芳典 朗読会+こども作品発表会

8月3日(土)

料金:大人/500円、子ども/200円

時間:16:00-18:00



辺口 芳典 **Yoshinori Henguchi**

写真家、詩人。

インスタントカメラの「写ルンです」のみでキャノン写真新世紀優秀賞を受賞。

自らが運営する「黒目画廊」での作品展示やトーク・セッションに、活動拠点の此花地域をめぐる「Woder Townツアー」の町先案内人、バンド「市内関係」のライブ活動なども行う大阪が誇るマルチ作家。

1973年7月26日大阪生まれ。新・福寿荘と同じ阿倍野区と西成区育ち。

2000年 Wasteland誌(後藤繁雄編集号)にて作家デビュー。同誌vol.7では草間彌生らとのポエトリー・セッション。

2001年 自主制作本「無脊椎動物のスポーツ・メタル」が大竹伸朗によるブック・セレクションに選出される。

2006年 キャノン写真新世紀優秀賞(日比野克彦選)を受賞。

2007年~ 京都ARTZONEにてイチハラヒロコ×牛島孝太郎×辺口芳典による三人展「Wording image」

富士フィルムの協力により、「想像妊娠」「ポスト・アドレナリン ポスト・タコ」「砂と炭酸」「カマイタチの陳列」「Windows9月」

「ノイメージ」「エクスポーズ」「噂のコミュニケーション」「ANALECTA」等個展、企画展多数開催。

2010年 大阪にて「黒目画廊」の運営開始。年間250回を超えるトーク・セッション×朗読ギグや個展を立て続けに開催。

nobodyhurtsから「女男男女男女男女男女男女男女男女」を出版。

PUBLIC / IMAGE. 3D(東京)にて「女男男女男女男女男女男女男女男女男女」展覧会。

2011年 ドイツ、デュッセルドルフ市のゲストに選ばれ「ANTI FOTO」展覧会に参加。

2013年 シアトルの「chin music press」から作品集

「LIZARD TELEPATHY FOX TELEPATHY」の出版が予定されている。

大阪府大阪市西成区山王1-5-31 新・福寿荘内

アクセス:地下鉄御堂筋線:天王寺駅、動物園前、JR天王寺駅徒歩5分

<http://www.artspace13.com/>

